

# 地すべり地形分布図の高度化に向けたイベントカタログ作成・分析とハザード評価手法の検討

マルチハザードリスク評価研究部門 佐藤昌人

## Point

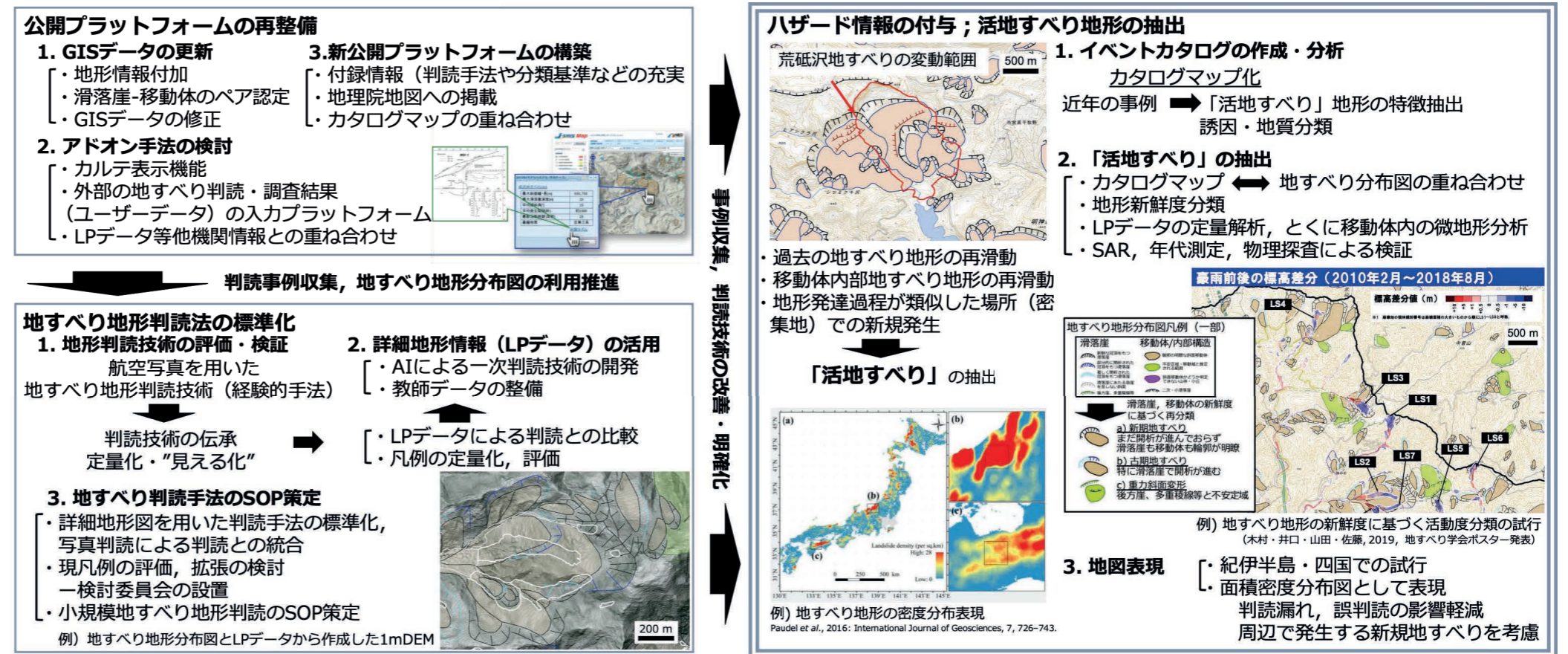
- 地すべり地形から「活地すべり」地形へ
- 地形量に基づく地すべり地形の危険度評価
- イベントカタログ作成および評価手法の検証

## 研究の領域

予防	応急対応	復旧・復興
予測・情報力		
防災基礎力		

## 概要

防災科学技術研究所「1:50,000地すべり地形分布図」(以下、地すべり地形分布図)は過去の地すべりの痕跡を判読した主題地形図である。地すべり地形分布図に記載された約40万個の地すべり地形から、活動度が高く地すべり「活地すべり」を抽出することを目的として、危険度評価手法



地すべり地形分布図の高度利用に向けた取り組み

の開発, 検証のためのイベントカタログ作成・分析, 地すべり地形の詳細調査を継続的に実施している。

## 今後の展望・方向性

大正関東地震, 南海トラフ地震のようなM7, M8クラス地震動により発生した斜面災害を中心に, イベント収集およびカタログ分析による広域での地すべりハザード評価を進めている。また, 変動が継続する大規模地すべりや新規災害の詳細調査により, 個別の地すべり地形の危険性評価, 活動性が高く災害につながる危険性の高い地すべりの地形・地質的特徴を把握・集積していく。

